

和歌山県沿岸に漂着したコブシメ（コウイカ目、コウイカ科）の甲

久保田 信

Shell of *Sepia (Sepia) latimanus* (Sepioida, Sepiidae) drifted ashore on the seacoast of Wakayama Prefecture, Japan

Shin Kubota

京都大学フィールド科学教育研究センター瀬戸臨海実験所（〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町 459）

はじめに

南西諸島に主に生息するコブシメ *Sepia (Sepia) latimanus* Quoy and Gaimard, 1832 は、死亡後に甲が黒潮に乗って本州に流れ寄ることがある(滝, 1973)。和歌山県沿岸ではこれまで 7 個が漂着した記録があり、奇形で小型の甲(先端欠落での甲長 128 mm)を除く 6 個の甲長は約 30–50 cm であった(Okutani & Matsukuma, 2004; 久保田, 2004, 2006a, b; 前岩, 2011, 未発表)。

記録

和歌山県白浜町所在の京都大学瀬戸臨海実験所“北浜”に、2012 年 5 月 24 日、損傷のない甲(多数の小さなエボシガイ付着)が 1 個漂着したので記録する(図 1)。なお、本種は著者らが毎日のように実施した“北浜”での以前の長年の打ち上げ調査では記録されていない(久保田・小山, 2002)。



図 1 京都大学瀬戸臨海実験所“北浜”に 2012 年 5 月 24 日に漂着したコブシメの甲

今回の標本は、棘を含む甲長が 38.5 cm、幅が

13 cm であり(図 1)、これは上記の和歌山県沿岸で記録された大型のものと同サイズであった。

引用文献

- 久保田 信・小山安生. 2002. 番所崎, 特に“北浜”(和歌山県白浜町)へ打ち上げられた軟体動物貝殻目録(2). 南紀生物, 44(2): 133-139.
- 久保田 信. 2004. コブシメ(コウイカ目、コウイカ科)の甲の和歌山県沿岸への 4 例目の漂着. 本覚寺杼貝(42): 37-39.
- 久保田 信. 2006a. ダンス踊るイカしたヤツ. pp. 84-85. In “宝の海から—白浜で出会った生き物たち”. 紀伊民報, 和歌山県.
- 久保田 信. 2006b. 和歌山県白浜町沿岸に漂着したコブシメの奇形の小型の甲. 南紀生物, 48(2): 134.
- 前岩 崇. 2011. コブシメの甲羅を伊枯木海岸で. 本覚寺杼貝, (61): 25.
- Okutani, T. & Matsukuma, A. 2004. Supplement to a catalogue of molluscs of Wakayama Prefecture, The Province of Kii. I Bivalvia, Scaphopoda and Cephalopoda. p.3, Pl. I, 7. In Publ. Seto Mar. Biol. Lab., Special Publ. Ser. VII. 53 pp., 8 Pls. + I-iii.
- 滝 巖. 1973. コブシメ. p.312. In 新日本動物図鑑[中] 4 版, 北隆館, 東京.